

S3の用途



S3の用途

大量データを長期保存するという観点から用途を検討する

コンテンツ配信・保管

ログ・バッチの保管場所

バックアップ／ディザスタリカバリ

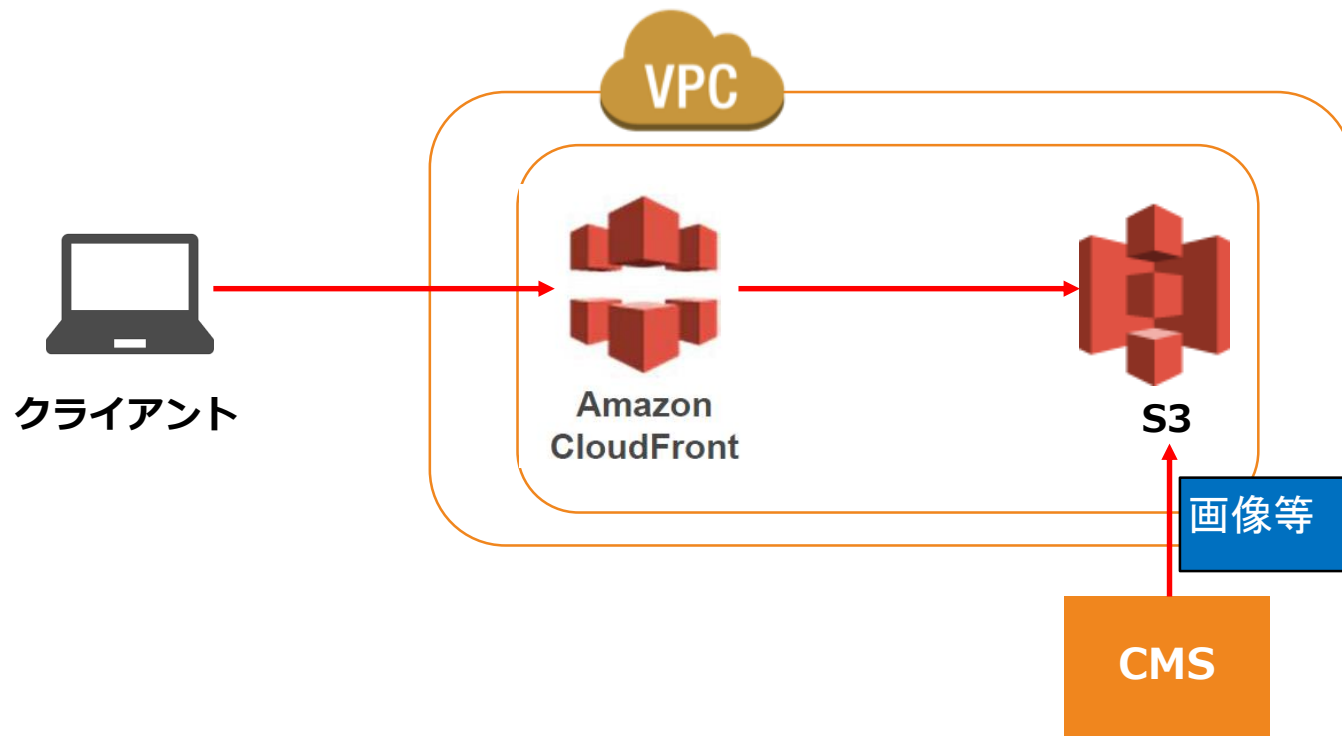
WEBの静的ホスティング

データレイク



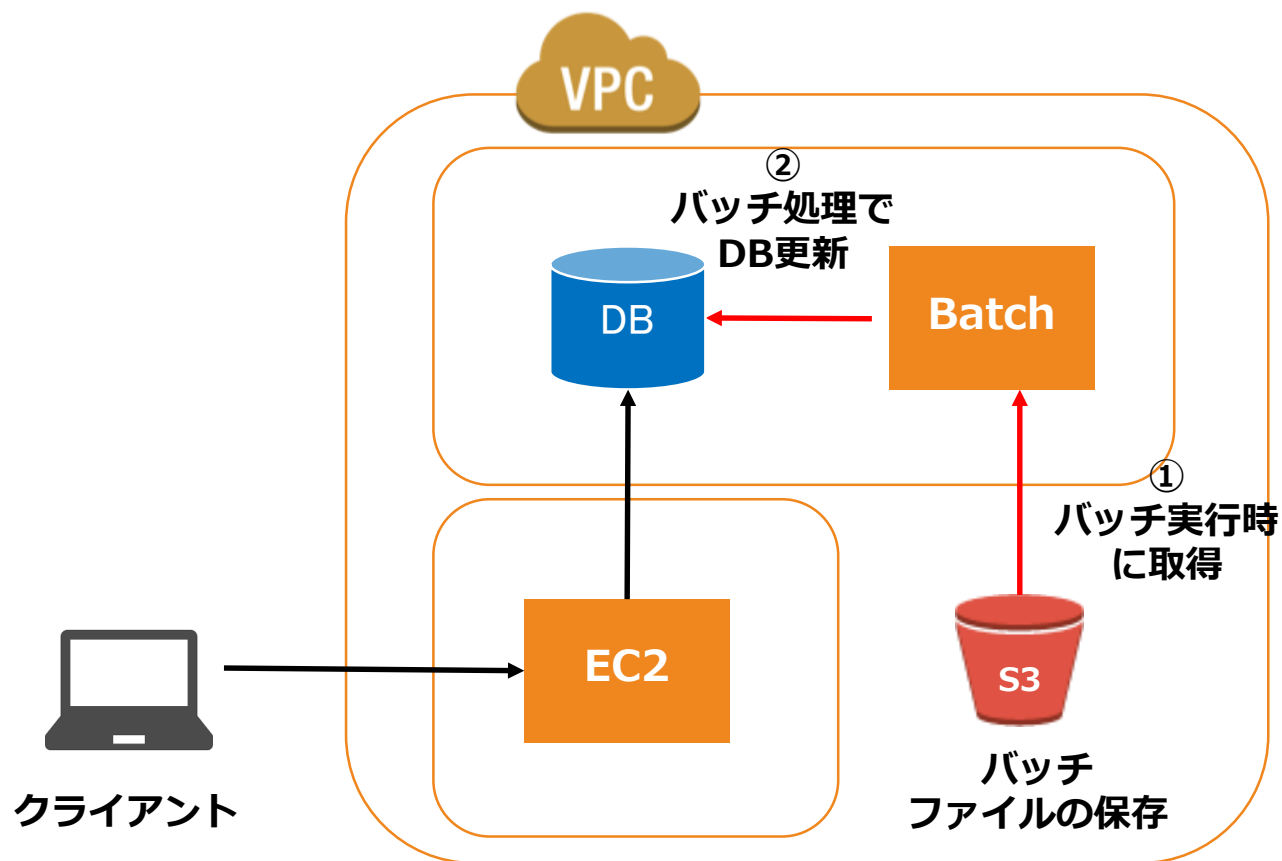
コンテンツ配信・保管

CMSから画像等のコンテンツデータの保管先にS3を利用する



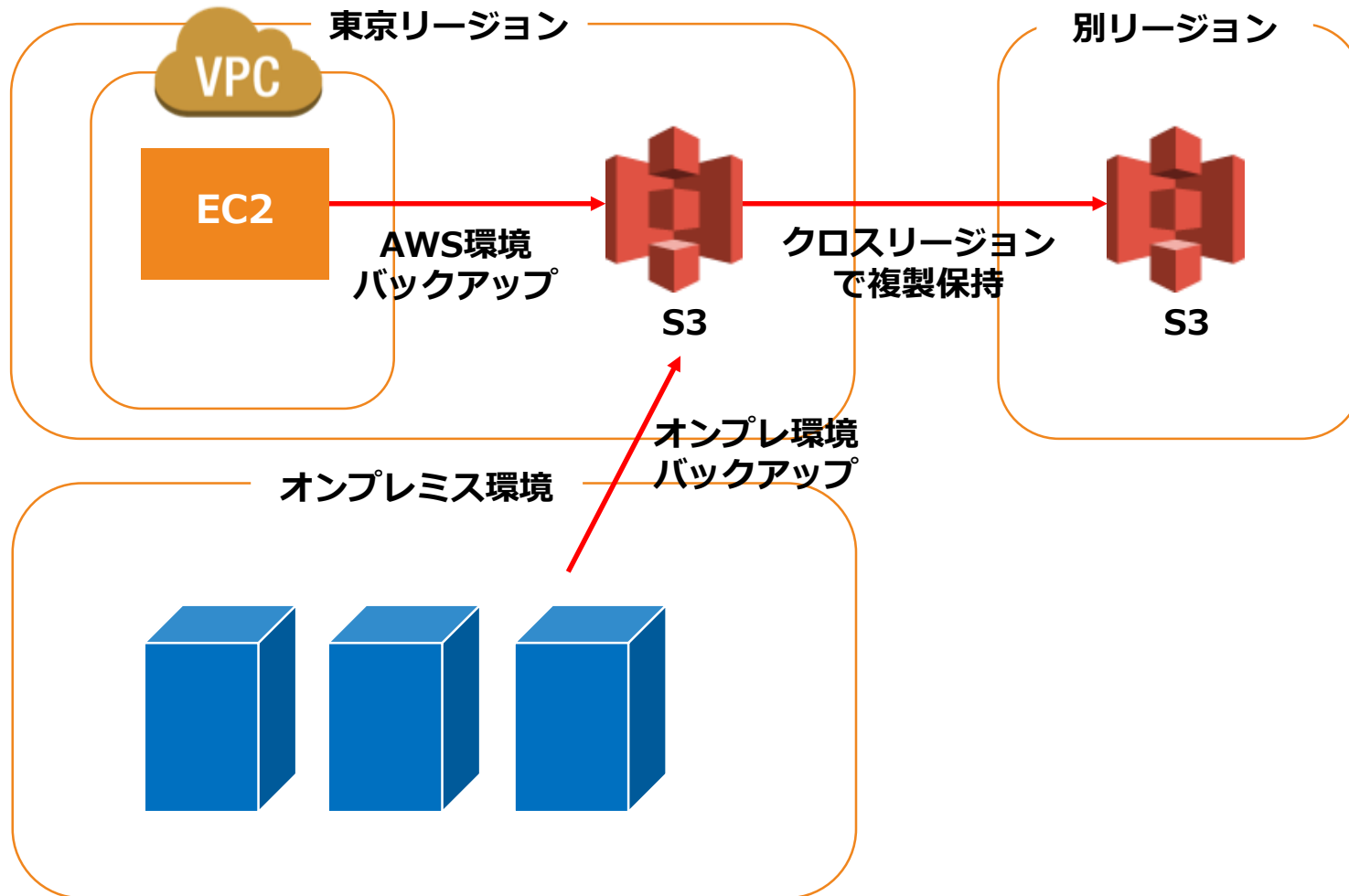
ログ・バッチの保管場所

ログファイルやバッチファイルの保存場所としてS3を利用する



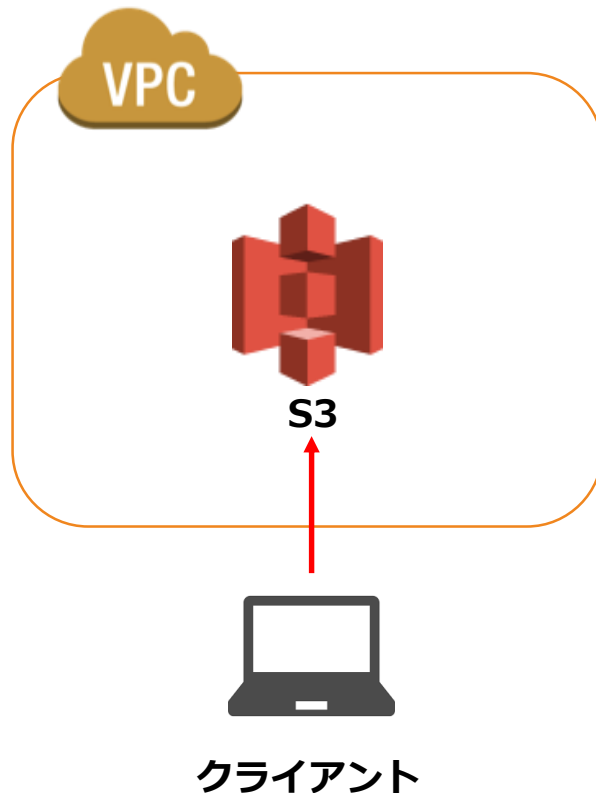
バックアップ／ディザスタリカバリ

バックアップの中長期の保存場所としてS3を利用する



WEBの静的ホスティング

S3のみで静的なWEBサイトをホスティングして構築可能



- ❑ マネージメントコンソールでバケット単位で指定
- ❑ 独自ドメインをバケット名として指定
- ❑ 任意のドメインへのリダイレクト機能
- ❑ 異なるドメインからのアクセス時に CORS (Cross-origin Resource Sharing) を利用
- ❑ CloudFrontとの連携 (経由での配信処理を推奨)



データレイク

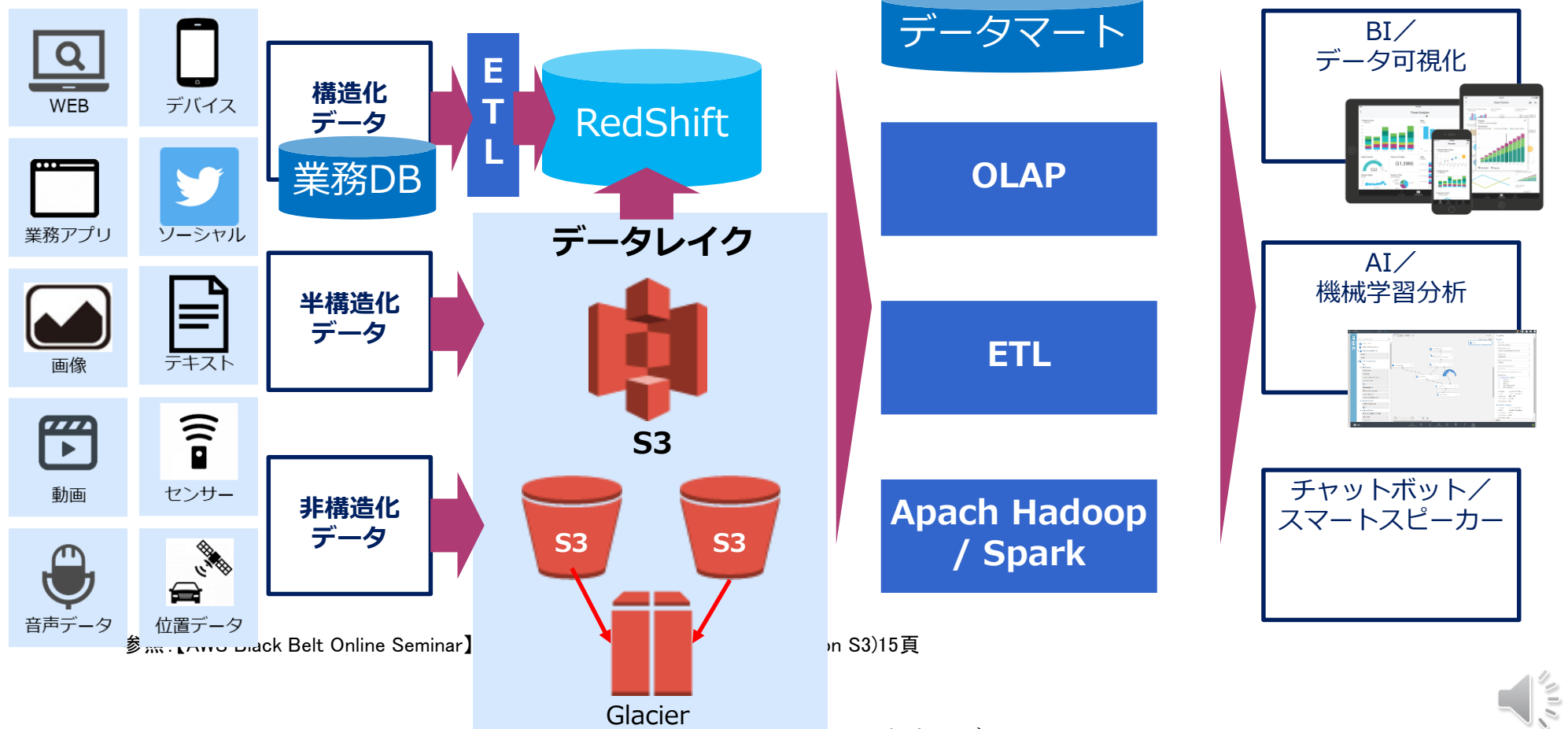
S3はデータレイクとしてデータ活用のハブとして利用できる

データ収集

データ蓄積

データ処理・加工

データ活用



参考: AWS Black Belt Online Seminar

on S3)15頁

